





うきうきと  
ひるはなを  
をを眠も  
よむむの  
まて体の  
業とあま  
小まか減る



女織手業草

哥磨子筆





蚕 三 度 の  
休 乃 後 業 を  
今 の 場

次 身 小 大 さ に ち ち  
ま じ ゃ く ち ち ち ち ち  
外 の 竹 筋 ち ち ち ち  
ち の よ う ち ち ち ち ち  
糸 と 別 ち ち ち ち ち  
い ち ち ち ち ち ち



哥 之 麻 呂 筆













うへに  
着るものを作る所  
まゝ子といふ

唐子といふこの類は  
枇杷などのおをまゝに  
ひきりしる音をきいて  
まゝをゆいぬて

中白を  
織るなり  
四畳も  
後まゝと  
ついで  
まゝに  
まゝ強  
おを  
まゝと  
ひきり



哥磨筆





玉織  
七

扇物

よりおれ時飛の  
よれ玉を  
ふえりり約  
扇乃蝶小なる  
おれ粒を  
に紙  
玉の  
春  
子  
子

哥  
磨  
筆





女織 天竺 千葉 紫草

八

蚕糸を吐く  
蝶にまがひて  
飛鳥

うさぎを  
てんてん  
と  
はるる

哥麿筆





繭を糸に  
くりに糸

生繭と塩ふ  
浸し年あり

大さぬ糸の  
内底ま竹の

筭を入  
其上に

相の  
糸と

糸又  
と

繭と  
あ

あ  
ま

ま  
ま

ま  
ま

ま  
ま

ま  
ま

ま  
ま

ま  
ま



哥磨筆





女織蚕糸業草

十

糸織を  
扱ひ  
する場

糸織の  
扱ひ  
する場  
糸織の  
扱ひ  
する場

糸織の  
扱ひ  
する場  
糸織の  
扱ひ  
する場  
糸織の  
扱ひ  
する場



哥林多華





THE UNIVERSITY OF CHICAGO  
LIBRARY

100 EAST EAST  
CHICAGO, ILL. 60607

1968



女織  
手業  
草

十二  
終



哥  
磨  
筆





蚕乃神を奉る

朝遇突智埴山

婚小遊

推産蚕を

産此神の

子蚕と

奉せり

是り故小

日本にて

推産矣

奉る乃紀

とのり

人皇二十

二代

雄略天皇

御后

娘玉

命をよし

天皇

御后

西陵氏

也

也



哥麻呂筆

